

## 素晴らしい選択

尹萍 尹文

卒業が近づき、東京では何年ぶりかの本格的な雪が降ってきました。灰色の空から舞い落ちて、とても綺麗だけれども、震えるほど寒かったです。駅改札口の人波を見て、初めて日本に来た日の異国にいる呆然とした寂しさを思い出しました。あっという間に、日本の春夏秋冬を体験し、一年間が過ぎてしまいました。現在の私と一年の私を比べると、一体何がどう変わったのだろうと思うこの頃です。

三月は卒業の季節です。この学校に進学して、またこの学校を卒業して去っていきます。この季節に伴う複雑な気持ちは、言葉で簡単に表現できません。学校を去っていく私たちは、本当に新しい環境で生きていけるのでしょうか。一つの困難を乗り越えたら、また次の試練が待っているかもしれません。人生はこのように一つまた一つと困難に立ち向かって突き進んでいくしかないと思います。

日本に来たばかりの頃は中途半端な日本語で随分苦労しました。初めてスーパーへ買い物をしに行った時に、シャンプーとリンスの区別が分からず、一体自分が何を買いたいのか店員に説明できませんでした。

亜細亜友之会外語学院の先生方は発音から指導してくださり、会話を練習する機会をたくさん作って下さいました。日本に来た目的は単に日本語を勉強するだけではなく、大学院に進学することが一番の目標です。日本の大学院は簡単に入れるという噂を聞いて、簡単に合格できると思って日本に来たら、現実はそんなに甘くなかったのです。学校選び、研究テーマ選び、教授との連絡、出願書類の作成など、全て先生に助けて戴きました。先生の助けがなかったら、多分出願書類さえ揃えられなかったと思います。亜細亜友之会外語学院の先生方に感謝を申し上げたいと思います。

この一年間の中で、たくさん初めての体験をしました。初めて海外に行くこと、初めて一人暮らしをすること、初めて料理を作ること、初めてアルバイトを探すこと、初めて大学院受験の面接など、全ての初めては一生の宝ものになると思います。こんなたくさん初めての経験のおかげで、自分が本当に成長でき、大人になった実感をしました。

多くの人から、成功者は一握りなので現実的に考えなさいとよく言われますが、人間というのは夢を見るべきで、夢を持つことこそ成功への第一歩を踏み出すことができると思います。夢があれば、まず如何にそれを実現するかを考え、その夢に向けて果敢に挑戦して、そして行動することです。親の期待に背かないように、汗水を惜しまずに、一緒に頑張りましょう。日本留学を決めたのは一番素晴らしい選択だったと胸を張って言えます。